

交通

車で……東名浜松インターより 国道1号線経由 車で約20分
 国1バイパス・倉松東の信号交差点を右折。
 バスで…浜松駅より4番線 春日町法枝・小沢渡15分乗車
 新田西または倉松入口下車 徒歩10分

お問い合わせは **TEL.053-449-8101(代)**

E-mail/info@h-minamikaze.com
<http://www.h-minamikaze.com>



- 特別養護老人ホーム **南風** ■ デイサービスセンター **南風** ■ 指定居宅介護支援事業所 **南風**
- 短期入所施設 **南風** 〒432-8064 静岡県浜松市南区倉松町 593 TEL.053-449-8101(代) FAX .053-449-8105
- 特別養護老人ホーム **第二南風** 〒432-8064 静岡県浜松市南区倉松町 598 TEL.053-449-8170(代) FAX .053-449-8171
- 第2デイサービスセンター **南風**
- 特別養護老人ホーム **花菜風** 〒432-8064 静岡県浜松市南区倉松町 741 TEL.053-449-8881(代) FAX .053-449-8885
- 地域包括支援センター **三和** 〒435-0038 静岡県浜松市南区三和町 242-1 TEL.053-462-1011(代) FAX .053-462-1015



あなたはひとりで無理しなくてよいのです。
もう十分がんばってきたのですから。



わたしたちの理念

南風のお年寄りご家族と職員が共に満足し、お互いの絆が強くなっていく共同体づくりを目指します。

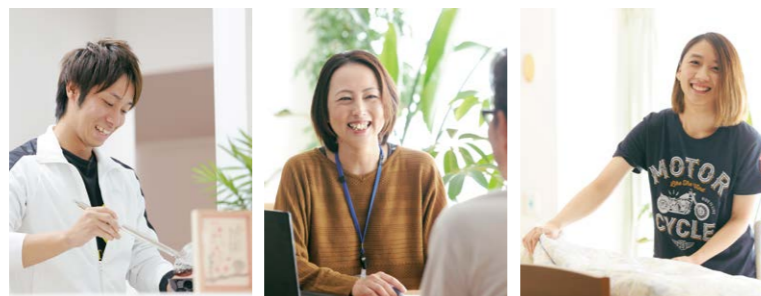
お年寄りの生活を支え、一人ひとりが「その人らしく」生きられるように援助します。

お年寄りのお世話で疲れているご家族の悩みを受け止め、

ひとりぼっちの世界から抜け出せるよう援助します。

職員を信頼するなかで、一人ひとりが「その人らしく」働き、成長できるように援助します。

地元の人びととの交流をととして、地域で必要とされる福祉活動に取り組みます。



南風が目指すパーソン・センタード・ケア

認知症のお年寄りの多くは、不安とともに深い霧の中に置かれています。

「自分が自分であること」「何かにたずさわること」「人と結びつくこと」「誰かと共にあること」

「安心してくつろぐこと」、これらの欲求を満たす上で大きな困難にぶつかっています。

パーソン・センタード・ケアとは、お年寄りが「その人らしく」暮らせるように支援することです。

そして、このことが実現するためには、そこで働く人たちも

「その人らしく」働くことができなければなりません。

つまり、すべての人が「その人らしく」あることを目指しているのです。

わたしたちは、この新しいケアの方法を通して、

いかに高齢者施設が生まれ変われるかを問い続けています。



コミュニケーション

かけがえのないご家族です。
入居後の交流・絆も大切に
いつでも、いつまでも。



❖訪問はいつでも気兼ねなく

会社に行く前、夕飯を作った後、休日の晴れた日…
会いたい時にいつでもお気軽にお越しください。
早朝や夜間でも、ひと声かけて頂くだけで大丈夫です。また、面会名簿もありません。面会の負担になる制度はなるべく割愛しています。
もちろん、ご家族が泊まることもできます。いつまでもご家族の絆を大切にしていきたいと考えています。

❖ご入居者の外出や外泊も ご自由に

外出や外泊は自由です。当日の朝までにお知らせ頂ければ、ご家族等の突然のイベントにも参加することができます。身体的な理由で、ご家族だけでは難しい場合も、お気軽に声をお掛けください。職員が外出や外泊をサポートさせていただきます。

❖ご家族との懇親会・ イベントも開催

ご家族はケアパートナー。私たちと共にご入居者を支えていきましょう。簡単なおやつ作りや敬老会、花火大会などご入居者とご家族が共に参加できるイベントを定期的に開催しています。また、他のご家族との大切な出会いもあります。情報交換やコミュニケーションの場としてご利用ください。

❖ご入居者の「一日」を 一緒に考えましょう。

ご入居者やご家族は大切なケアパートナーです。一人ひとりの希望をお伺いしながら「個別ケアプラン」や「24時間シート」を作成します。「その人らしい一日の過ごし方」に着目したこのシートは、趣味や好み、望まれる暮らしの情報を職員が共有しご支援させて頂くものです。その後も随時ご希望をお伺いしながら改善を繰り返し、よりよいケアを目指します。

交換日記を通してコミュニケーション

私たちは全ての居室に「交換日記」を備え、ご家族と職員とのコミュニケーションを大切にしています。

その日にあった些細なことや、イベント等のご案内の他、時にはご家族と職員がプライベートの情報交換をすることも…。

小さなノートの小さな関係が、ご家族との大きな信頼関係を築いています。



食事は生活の基本です。
そこには喜びや、楽しみがある。
大切にしたい
ひと時です。



❖健康づくりは豊かな献立から

食べることは生きること。栄養のバランスが良いおいしい食事をとることは、健康の維持はもちろん、生きる活力になって充実した毎日につながります。また、わたしたちは施設内の厨房やフロアのキッチンで温かな食事をつくっています。食事をしているときの入居者の笑顔が嬉しくて、喜びや楽しみとなるような豊かな献立づくりに努めています。

❖食事を楽しむための取組み

栄養だけにとらわれず、味・見た目・香りで食事を楽しんで頂くことを大切にしています。ユニットでご飯を炊いて香りや音を楽しんだり、また、使い慣れたお茶碗やお箸をお持ち頂ければ、ご家族や友人の笑顔を思い出し、よりあたたかみのある食事の時間となります。

❖その人にあった柔軟な対応

年を重ねると普段食べていたものが噛みづらい、飲み込みづらい等、様々な問題が生じます。そうした方々の不安に向き合い、一人ひとりにあった食べやすい食事の提供をしています。南風ではきざみ食、ソフト食、ミキサー食、ゼリー食などを用意し、他職種と連携をとって「食べる」をサポートしています。

❖口腔ケアの充実から
「食べる」を考える

おいしく食事をとるためには、口の中の清潔、歯の具合や噛み合わせ等のケアが欠かせません。歯科衛生士、介護スタッフが連携してその方に合った口腔ケアを実践しています。また、口腔ケアの充実、肺炎予防にもつながるため、健康面においても大切な取り組みだと考えています。



その人らしい健やかな
暮らしを支える、
きめ細やかな医療サポート。



❖毎日の気付きを活かした健康管理

私たちは毎日、体温、血圧、脈拍等計測を行い健康状態の変化に気を配り、何より入居者の体調の変化を、いち早く察知することが早期対応を可能にすると考えています。日々の顔色や手や身体の動きなど生活の中で感じる些細な変化にも気付くことができるように、介護スタッフと入居者が日常の係わりを密にすることで、家族の様な気づきを活かした健康管理を行っています。

❖緊急時マニュアルの徹底

緊急時には、看護師と介護スタッフが連携し、嘱託医へ報告。また、各医療機関との連携を図りながら迅速な対応をとります。南風ではいざという時のために、様々な事例に合わせた「緊急時マニュアル」を作成し、24時間適正対応が徹底できる様取り組んでいます。

❖医師・看護師・介護スタッフ
による健康管理体制

介護スタッフや看護師が入居者と共に過ごし、体調を見守るなかで嘱託医に常時報告しています。週に1回の回診だけでなく「24時間連絡体制」をとることで、きめ細やかに入居者の健康を見守っています。

❖介護度が進んでもサポート

認知症を含め、介護度が進んだ場合でも、介護スタッフや看護師がその人らしい生活の継続をサポートいたします。また、90%以上の方はここで終末期を過ごされます。最後まで入居者の人生に合わせた「看取り介護」をご家族と共に考え、ご提案させていただきます。

定期回診で健康をチェック

嘱託医は、ご入居者の健康を管理する医師です。施設に常駐しているわけではなく、定期的回診や病状変化時の往診、投薬の指示等を行っています。老人ホームは「家」であり、治療を中心としている施設ではありません。わたしたちは「その人らしい暮らし」の継続に必要な医療について、ご入居者やご家族と共に考えサポートさせていただきます。





特別養護老人ホーム 南風

4つのユニットに分かれ、スタッフと共に少人数で暮らします。一人ひとりに役割を持って頂き、できる限り「その人らしく」生活を送ることができるよう支援しています。

特別養護老人ホーム 第二南風

6つのユニットに分かれ、スタッフと共に少人数で暮らします。ケアについては南風と同様ですが、各居室にトイレを設置し、プライベート空間をよりいっそう大切にしています。



居室(全室個室)

使い慣れた家具やお気に入りの小物等をお持ちください。ご自宅の部屋のようにほっとくつろげるプライベート空間としてご利用できます。



喫茶コーナー

ボランティアが月曜から金曜まで運営。いつでも淹れたてのコーヒーが楽しめます。笑いの絶えないくつろぎのスペースです。



リビング

食事だけでなく、集い、くつろぐ場所です。ユニットごとに入居者の方に合わせた雰囲気作りをしています。



居室(全室個室)

それぞれの居室にトイレが設置してあります。自分だけのスペースをゆったりとご利用になれます。



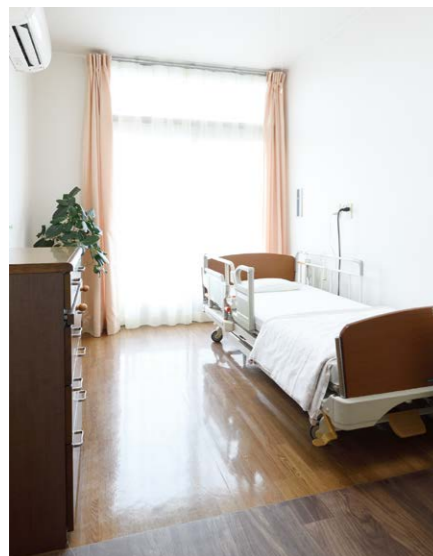
喫茶コーナー

ボランティアが月～金で運営。肩寄せ合っておしゃべりしながら、おいしいコーヒーをどうぞ。



浴室

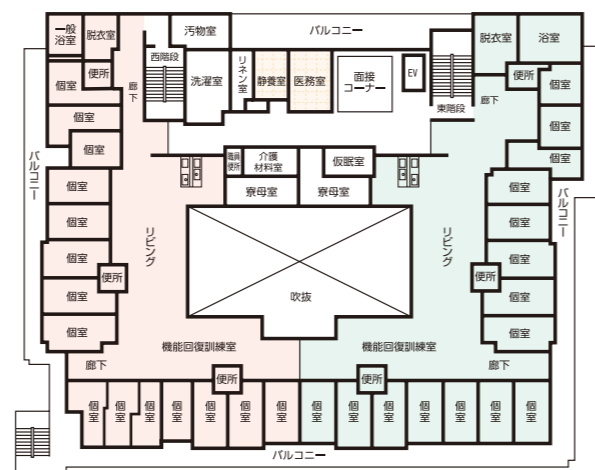
複数のお風呂の中から、その方に合わせたお風呂で、ゆっくりとした入浴を楽しんでいただけます。



ショートステイ 居室

ご利用中、ゆっくり過ごしていただけるように、プライバシーを重視した完全個室です。

2F・3F(基本レイアウト)



第二南風外観

津波災害時には避難ビルとして、入居者はもちろん近隣住民の方にも使用していただけるように外周のスロープを回って屋上に逃げられるように設計されています。

2F・3F(基本レイアウト)





地域密着型特別養護老人ホーム 花菜風

3つのユニットに分かれ、スタッフと共に少人数で暮らします。家庭的な雰囲気大切にしたり作りで、入居前の生活と入居後の生活が継続したものとなるよう配慮しています。

デイサービスセンター 南風

「ご自宅での生活が少しでも長く続けられるように」をコンセプトに在宅生活を継続するうえで、とても大切な動作を中心に機能訓練をプログラムしています。また、認知機能の低下を予防するために、約10種類の機能訓練を提供しています。



居室(全室個室)

「花菜風」は少し広めのお部屋が特徴です。存分に「自分らしい」部屋作りを楽しんでください。



リラクスルーム

音楽を聞いたり、カラオケやゲーム、マッサージをしたりと、楽しくリラックスできる場所です。



リビング

心からくつろげる“家庭”らしさを感じていただけるために、あえて小さめのスペースにしてみました。



認知症リハビリ

作業療法や園芸療法、新津はたら倶楽部など、約10種類のプログラムで認知症の進行予防を目指します。



在宅生活継続訓練

在宅生活を継続するうえで必要となる生活動作で使われる動きを中心に機能訓練を実施します。



個別機能訓練

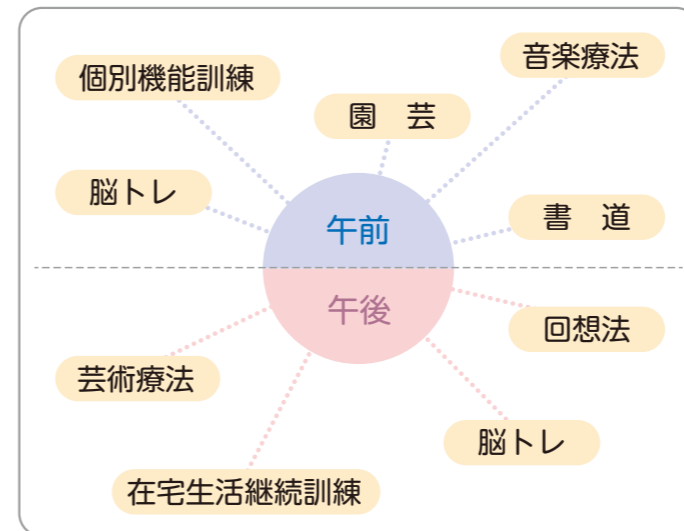
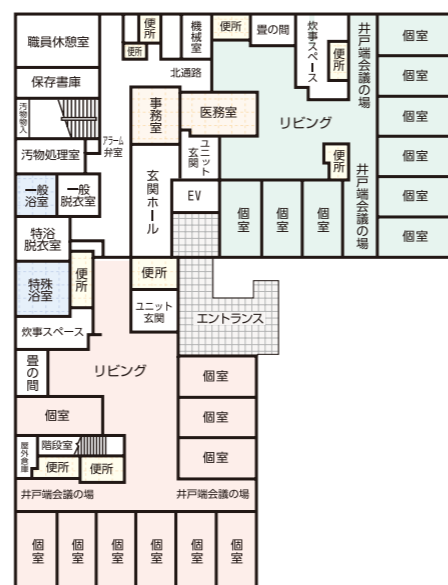
身体機能の維持・向上を目指すための訓練を行います。ご利用者の現状機能や、障がいに合わせて訓練を行います。



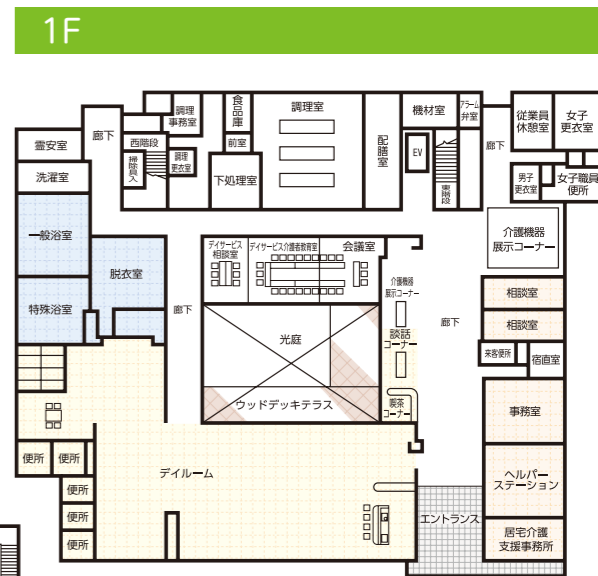
地域密着型

地域密着型特別養護老人ホームとして、住み慣れた地域で「その人らしく」生活が継続できる、アットホームな特養です。

2F・3F(基本レイアウト)



※様々な活動をご用意しております。お好きな活動を選択して頂きます。





第2デイサービスセンター 南風

身体機能維持・改善を目的とした機能訓練特化型デイサービスです。
一人ひとりにあった様々なプログラムをご用意しています。



作業療法
療法士が、一人ひとりに合ったプログラムを作成し、個別または数名のグループで個別機能訓練を実施します。



個別マシン
各りハビリ器具を取り揃えています。ご希望を伺いながら、その方に合った機能訓練をご提案させていただきます。

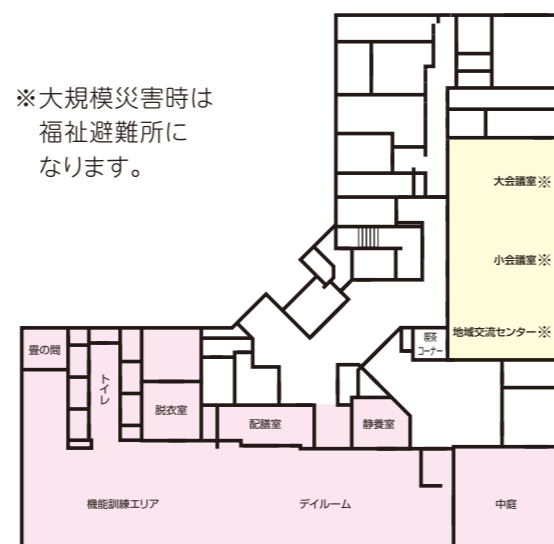


浴室
自宅で安全に入浴できる事を目標としています。色々な介護機器を取り揃えていますので、よりご家庭に近い環境で入浴することができます。

	Aグループ	Bグループ
午前	重り負荷訓練	ホットパック 関節可動域訓練
	入浴動作訓練	メドマー マット運動
	排泄動作訓練	歩行訓練 フットマッサージャー
	下肢筋力トレーニング	ペダルエクササイズ 学習療法脳トレ
午後	ホットパック 関節可動域訓練	重り負荷訓練
	メドマー マット運動	入浴動作訓練
	歩行訓練 フットマッサージャー	排泄動作訓練
	ペダルエクササイズ 学習療法脳トレ	下肢筋力トレーニング

❖ AグループとBグループに分かれて活動を行います。

第2デイサービスセンター 南風(レイアウト)



特別養護老人ホーム 南風 [50名]

平成15年4月、「徘徊するお年寄りがベッドに縛り付けられることなく、人間らしく安心して暮らすことができる施設を作りたい」という私たちの思いを込めて誕生したのが南風です。私たちの原点と言える入所施設です。入居対象者は要介護3~5(特例入所が認められる要介護1~2)の認定を受けている方です。

特別養護老人ホーム 第二南風 [60名]

東日本大震災を教訓に、地域住民の避難ビルとしてだけでなく、地震等により住む場所を奪われた近隣のお年寄りが長期間避難生活をする事ができる機能を兼ね備えた建物が新津地区に必要であったことから誕生したのが第二南風です。入居対象者は要介護3~5(特例入所が認められる要介護1~2)の認定を受けている方です。

地域密着型 特別養護老人ホーム 花菜風 [29名]

平成22年当時、南風は180名を超える入居申込者を抱え、入居の見通しが立たないなか介護で困っているご家族を少しでも受け入れなければと花菜風を作りました。花菜風は地域密着型の入所施設で、地域住民やご家族の代表者、行政の方々にも運営に参加して頂き、地域社会と共に存在することを目指す小さなホームです。入居対象者は要介護3~5(特例入所が認められる要介護1~2)の認定を受けている方で、浜松市の介護保険被保険者の方です。

短期入所施設 南風 [10名]

特別養護老人ホーム南風の併設施設で、介護者が疲れたり、用事のあるときなど一時的に利用する入居施設です。家庭での生活リズムをできる限りくずさないよう支援します。入居対象者は要支援1から要介護5までの認定を受けている方です。

デイサービスセンター 南風

ご自宅までスタッフが朝夕送迎し、日中デイサービスで過ごす通所施設です。認知機能の維持改善と在宅生活を継続するために必要な訓練に特化しています。利用対象者は事業対象者及び要支援1~要介護5の認定を受けている方です。

第2デイサービスセンター 南風

ご自宅までスタッフが朝夕送迎し、日中デイサービスで過ごす通所施設です。身体機能の維持・改善を目的とした機能訓練に特化しています。利用対象者は事業対象者及び要支援1~要介護5の認定を受けている方です。

居宅介護支援事業所 南風

地域で暮らしているお年寄りやご家族の相談窓口です。介護保険のサービスを利用するため介護認定を受けたい方、ご家庭での介護でお困りの方などご連絡いただければケアマネージャーがご相談に応じます。ご自宅で安心して暮らすためのケアプランを、お年寄りやご家族と一緒に作成し、在宅生活が続けられるよう支援します。

地域包括支援センター 三和

浜松市から委託された公的な機関です。お年寄りの「総合相談」、「介護予防」、「権利擁護」、「ネットワーク作り」を中心に取り組み、健康・生活・財産・権利などを守ります。

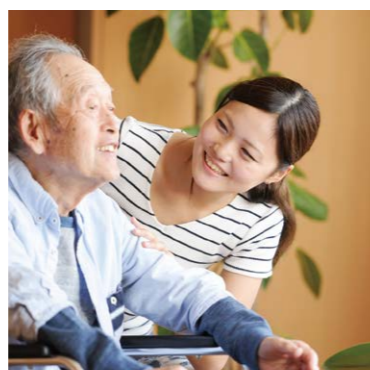
心に寄添うスタッフの想いが
入居者のみなさんを優しくつつみこみます。
大切なのは心を結ぶコミュニケーション。



看護チーム

看護主任
中村 祐也
(なかむら ゆうや)

生活だけでなく、命を支えている自覚を持って。
南風は入居者にとって病院ではなく「家」ですから、暮らしを重視した健康管理が必要になります。いつも近くにいないければ分からない些細な体調の変化にも気を配り、日々安心して笑顔で過ごせるよう尽力しています。以前頂いた言葉で「人生の最後にあなたに逢えてよかった」を胸にがんばっています。



介護チーム

介護職員
鈴木 明日香
(すずき あすか)

普通の会話で心から笑える自分がうれしい。
日々忙しくしている私たちに比べ、入居者にとっての時間はとても緩やかで、持て余してしまう方もいらっしゃいます。だから一緒にいられる時は、思いのこもった時間の過ごし方をドンドン提案しようと心掛けています。懸命に生きてこられた方のこれからを少しでも笑顔で飾っていただきたいから。



介護チーム

介護職員
小野 涼太
(おの りょうた)

介護のこれからを考え、僕はここにいます。
岩手の介護専門学校を卒業して、3年になります。就職に際しては各施設のホームページを見たり訪問したりしました。その中で見つけた南風で、どうしても働きたくて採用して頂きました。ここはしっかりした理念があり、閉鎖的になりがちな老人施設でも、毎日笑い声の絶えない職場です。今は毎日充実してお世話に当たっています。



リハビリチーム

機能訓練指導員
作業療法士
鈴木ちひろ
(すずき ちひろ)

いつも笑顔で頑張れるリハビリを目指して。
ご自分の状態の中で今何ができるのか知ってもらい、維持、改善を目的にリハビリに寄添っています。幾つになっても人は自分の身体のことには知っておきたいし、もっと良くしたいと考えるもの。どんなに小さな変化も見逃さないで、共に喜び合えるその方に合ったリハビリをこれからも提供していきたいと考えています。



事務業務

窓口・事務職員
前嶋 真智子
(まえじま まちこ)

南風の信頼を窓口から笑顔でバックアップ。
窓口業務や事務は、介護士のように利用者さんと直接かわかる事は少ない職種です。それでも一番最初に接点を持つのは私たちなので、プライドを持って対応させて頂いています。中には本当に苦しい思いを抱えてお見えになる方もあります。そのような心に少しでも寄添う対応ができるように頑張っています。



生活相談員

生活相談員
中西 美保
(なかにし みほ)

安心して南風をご利用頂くために。
南風をご利用いただく前やご利用中の相談、施設内の連携調整をしています。「南風でよかった」と入居者さんやご家族様に言っていただけた時が、一番嬉しくてやりがいを感じます。それと同時に、もっと南風全体が向上していくためにも多職種で協同して頑張りたいです。



食事サービス

管理栄養士
榊原 夏実
(さかきばら なつみ)

「自分で」「おいしく」食事が楽しめるように。
「好きなものを、好きな形で食べたい」と言われる入居者さんが多いです。私もそうですが…食べることは生活の中の大きな「楽しみ」だと思います。そんな入居者さんの要望に応えられるよう、笑顔でご飯を食べていただき、食事を楽しんでいただけるよう、精一杯頑張っています。



ケアマネージャー

ケアマネージャー
大場 絵美
(おおば えみ)

利用者に寄添えるケアマネージャーを目指して。
身内の人間が要介護の状態になったとき、家族が救いを求めるのが、ケアマネージャーだと私は考えます。利用者やそのご家族には、どんなサービスが必要なのかニーズを把握して「介護が必要な人と介護保険サービスをつなぐ」架け橋になりたいと、仲間のケアマネージャーたちと意見を出し合い、利用者目線で真摯に取り組んでいます。

地域と密着した活動を目指す我々には、
総勢50名を超える「南風ボランティアグループ」の
頼もしいバックアップがあります。



南風ボランティアグループ

水野 多美子(みずの たみこ)

毎日が同窓会で婦人会。気の良い仲間楽しく!

創立当初の平成15年からボランティアをさせて頂いてます。月4回喫茶店とお抹茶を点てる(茶道)ボランティアを行っています。入居者の方は、最初ボランティアの意味が分からず、施設職員とよく間違われました。ですが、無給でご奉仕している事を伝えると、すぐに打ち解けることができ会話も弾みました。皆さんに感謝されて誉められるのはちょっと嬉しいですね。でも何より皆さんの笑顔は気持を元気にしてくれます。

私の宝物*「銭太鼓」

ボランティアのメンバーさんと最近練習を始めました。来年の南風の秋祭りには皆さんにお披露目するつもりで現在特訓中!



南風ボランティアグループ

小楠 道子(おぐす みちこ)

人生の気分転換を味わっています。

私も初期メンバーの一人です。月2回喫茶店と詩吟を教えるボランティアをさせて頂いてます。どちらも皆さん本当に喜んでくれます。人に必要とされる、だから頑張れる。待っていてくれる人がいるから足が向く。損得ではありませんね。喫茶店のお客さんに、ずっと農作業をされていたおばあちゃんがあります。曲ってしまった腰を見るたび、「いままでお疲れ様、コーヒーでも飲んでゆっくりしてってね」と、心の底から願ってしまいます。

私の宝物*「牛乳パックの小物入れ」

ボランティアの皆さんと時間を見つけて作っています。喫茶店のナプキン入れ等に使って、好評ですよ。これも皆で作るから楽しいですね。



地域ボランティアのみなさまとの結びつきは「南風」の宝物。素敵な笑顔に日々支えられています。

よくあるご質問をご紹介します。

Q 特別養護老人ホームとは、どのような施設ですか？

A 特別養護老人ホームとは、日常生活を送るために介護が必要な方(原則要介護3以上)が対象となり、終身利用も可能な施設です。私たちは、一人ひとりにあった介護サービスをご本人・ご家族と共に考え、ケアパートナーとしてご支援させていただきます。

Q 入居の条件はありますか？

A 入居の対象者は、平成27年4月1日以降、原則要介護3以上の方に限定されましたが、要介護1または要介護2の方については、やむを得ない事由によりご自宅で日常生活を送る事が困難な場合、特例入所が認められるようになりました。是非一度お問い合わせ下さい。

Q 入所の順番はどのように決まるのでしょうか？

A 特別養護老人ホームは、ご自宅での生活が困難な方が入居する施設です。介護度の高い方や緊急性がある方が優先となりますのでお申込み順ではありません。入居をお待ちいただく期間については状況により異なりますので、是非一度お問い合わせ下さい。

Q 施設の見学はできますか？

A 南風は地域に開かれた施設です。いつでも自由に見学することができます。事前にご連絡頂ければ、担当の職員がご案内させていただきます。

Q 介護・看護スタッフは24時間いますか？

A 介護スタッフは24時間体制で勤務しております。夜間でも緊急コールでスタッフが駆けつけますので、安心してお過ごし頂けます。また、看護スタッフは夜間不在となりますが、自宅でオンコール待機をしており、緊急時等は嘱託医と連携し迅速に対応しています。

Q 認知症があるのですが…

A 私たちはパーソン・センタード・ケア(3頁参照)を目指しています。施設においても「その人らしく」過ごせるように、ケアの内容をご本人ご家族と共に考えご支援させていただきます。

Q 退所しなければならないのはどんなときですか？

A 特別養護老人ホームは介護保険制度の下で運営されている為、要介護度が「非該当」や「要支援」「要介護1～2(特例入所が認められない場合)」と認定された場合には残念ながら退所して頂く事となります。その場合は、居宅介護支援事業所南風のケアマネージャーと連携し、その後の生活についてしっかりとご相談させていただきますのでご安心下さい。

Q 施設に入ると「生活が管理される」と聞きましたが、本当ですか？

A 私たちはパーソン・センタード・ケアを目指しています。入居しても「その人らしく」生活できるように、ケアの内容をご本人ご家族と共に考えます。「できること」「できないこと」「したいこと」「してほしいこと」一人ひとりの想いがありますので、是非一度お問い合わせ下さい。

仲間たち

もともと、自他ともに認める「経営と数字」の音痴だった私は、高齢者施設の運営を始めるにあたって、何百冊という経営専門書を読みあさりしました。そして専門家でも一人ひとりの考えが違うことや流行の経営理論に振り回されてはいけないことを学びました。もっとも大切なのは一緒に働いてくれる職員であり、ゆえに自分たちで考えて判断するのが最善であるという結論に至りました。

嬉しいことに、開設準備室に集まってくれた人びとは、十数年経った今でも全員が仲間として残っています。規模が小さくて、ささやかな活動しかできない「南風」が誇れることは、この仲間たちの存在です。

「南風」には、「管理」という名の「支配」は存在していません。また成果主義もありません。職員の能力を比べて序列を作るよりも、チーム全体の努力をこそ評価すべきだと考えるからです。

最終的に私が行き着いた運営方針は、一人ひとりの職員の気持ちと働きを邪魔しないということでした。どの職員も自分の考えをもっています。そして、どの人も他者のお世話が大好きです。だからこそ、この分野に飛び込んできたのです。放っておいても、一生懸命に高齢者のケアに携わってくれます。その姿には頭が下がります。ですから、一人ひとりの意見をきちんと受けとめ、自由に行動できる環境を用意するだけで、みんなが最善を尽くしてくれるのです。

私にとって「仲間」こそ宝です。



社会福祉法人 ほなみ会 理事長

鈴木一夫

沿革

平成14年8月1日	社会福祉法人ほなみ会設立	
平成15年4月1日	特別養護老人ホーム南風 開設 短期入所施設南風 開設 デイサービスセンター南風 開設 ヘルパーステーション南風 開設 居宅介護支援事業所南風 開設	
平成21年4月1日	第2デイサービスセンター南風 開設	
平成21年12月4日		浜松市ホームページコンテスト 浜松市長賞受賞
平成22年1月26日		全国老人福祉施設協議会 ホームページ部門デザイン賞受賞
平成23年4月1日	地域密着型特別養護老人ホーム花菜風 開設	
平成26年3月11日		厚生労働省より感謝状 (東日本大震災被災地における支援活動)
平成26年8月20日		静岡県介護の未来ナビゲーター受託
平成27年4月1日	地域包括支援センター三和 開設	
平成28年2月25日		浜松市と津波避難ビル協定書締結
平成28年6月19日		公益社団法人静岡県母子寡婦福祉連合会より感謝状 (ひとり親世帯の就業に対する支援)
平成28年7月1日	特別養護老人ホーム第二南風 開設 第2デイサービスセンター 移設増員	
平成29年9月17日		静岡県優良介護事業所職場環境改善部門知事褒章受賞 (特別養護老人ホーム南風)
平成30年9月16日		静岡県優良介護事業所サービスの質向上部門知事褒章受賞 (特別養護老人ホーム南風)
令和2年4月1日		浜松市学習支援事業「寺子屋しんづ」受託
令和4年11月4日		静岡県優良介護事業所サービスの質向上部門知事褒章受賞 (デイサービスセンター南風)